

総務文教常任委員会会議録

(令和7年11月25日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会総務文教常任委員会会議録

本日の会議 令和7年11月25日(火)
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	鷹野正志	副委員長	田中純樹
委員	池田栄次	委員	吉田茂生
委員	石川秀夫	委員	金繁典子
委員	中野光博		

欠席委員

なし

出席委員外議員

なし

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	土居章二	主幹	尾川美保
--------	------	----	------

説明のため出席した者

なし

本日の委員会に付した案件

(1) 所管事務調査

「廃校施設の利活用について」

開会	11時30分
閉会	11時53分

○田中副委員長 それでは時間になりましたので総務文教常任委員会を始めます。

初めに委員長挨拶をお願いします。

○鷹野委員長 皆さん全協でお疲れのところ、総務文教常任委員会に全員の出席をいただきましてありがとうございます。

今日は廃校施設の利活用ということにつきまして、今後、この委員会がどういうふうやっていくかということをお皆さんと協議していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

そしたら、引き続き本題のほうに行きます。前回、愛南町全体の学校施設、また、下宿やない、アパート等見たわけですが、ある程度、使えない施設、あるいはまだまだ使える施設、いろいろあったと思います。それで皆さんの意見としては、ランク付けしてその辺をもう壊すのか、そういった計画をすべきであるというような方向だったというふうに思っております。

それで、ある程度まあ方向性は決まったんですが、せっかくの機会でありますので、この間ちょっと出ましたように、視察ですね、視察をやったらどうかというふうな意見がありましたけど、視察に関しては皆さんどうでしょうか。

石川委員。

○石川委員 私はこれ、売れるものはどんどん売却していく方向がいいと思っておりますので、もしそういう取組をしている先進地、自治体があれば、そういうところをメインに見ていったらどうか。やる方法も含めて、どういう手法が一番いいのかということも含めて、愛南町にはやっぱり5か町村集まって、かなりの廃校施設、まあ公共施設も含めてですけれどもあると思っておりますので、これいつまでも町が管理していくっていうのはマイナス財産なんで、管理費もかかりますし、売却すれば固定資産税も入ってきますのでプラスになってこようかと思っております。

その中で議会として、委員会として、提案できるっていったらそういうところに着眼して行くのも方法じゃないかなというふうに思っています。

○鷹野委員長 ほかにどうでしょうか。

金繁委員。

○金繁委員 私もいつまでも活用しないで放置していくよりも、活用もしくはその売却なども含め、検討されるべきだと思うんですけど。そこに持っていくまでの判断材料と、組織的な取組をどうするかっていうのがやっぱり一番大事じゃないかなと思っていて、結局、愛南町はそれぞれの課が行政財産として使わない施設をいっぱい持っている。教育委員会だったら教育目的にしか使えないという状況でずっと持っているというようなことなので、それ活用していくには、例えば普通財産に移すことが必要なんですけど、普通財産に移した先に、じゃあ庁舎内の誰が、どんな課が一番積極活用に適しているのかといたら、今ずばりの課ってないと思うんですよ。ほかの町だと、例えば四万十町のにぎわい創出課とか、そういうまちづくり課みたいなのができていて、そういうところでチームをつくって、専門家にも入ってもらって、もう最適な活用方法を決めていくっていうことになっているんだと思います。

なので、やっぱりそこはやっぱりプロセスというか、人と手続を決めるところがやっぱり一番大事で、そこを私は視察してみたいと思っております。いろんな活用方法、総務文教的な教育分野に使ったりとか、商業分野に使ったりとかいろいろ活用してるところがいっぱい、文科省のホームページに行けば例は載っているんですけども、そういうところもちろん視察していいんですけど、やっぱりそのプロセスと、判断できる体制をうまくつくっているところが肝じゃないかなと私は思います。

○鷹野委員長 池田委員。

○池田委員 視察に当たって、やっぱり愛南町と同じような条件のところに行かんと、幾ら事例が素晴らしい事例でも、これは多分、参考にならんって言ったら失礼な言い方ですが、やっぱり愛南町と同じような条件で、同じような面積っていうか、同じような条件で5か町村が合併して、同じような施設を持つとるといようなところを、ちょっと難しい条件になるけど、それが

大事やと思います。

以上です。

○鷹野委員長 ほかに。

吉田委員。

○吉田委員 私もそうなんだけど、皆さんと同じような意見の中で、一つ、28日に砥部町が行うものについては事務局のほうで調べていただいて、今、三十数社が一応来ているらしいんです、その活用も含めて。思った以上に多くて、マイクロから観光バスに変えるみたいなそんな状況であります。これはまあ聞くだけなので、別に視察に行く必要ないので状況は入りますので、それも一つの参考材料として、いいのかなと。

それから、先ほど言いましたようにやっぱりプロセスがどうしても必要だと私も思います。これは提案するのは、我々が提案していくべきだと思うので、そういう参考事例のところがあれば一番僕もいいのかなというふうに思います。

以上です。

○鷹野委員長 ほかにどうですか。

金繁委員。

○金繁委員 四万十町がにぎわい創出課っていうのをつくってかなり積極的に前から取り組んでいるんですけども、公共施設も学校施設の活用についても、宿泊施設にしたりミュージアムにしたり、いろんな活用をして、日経新聞とかにも取上げられているようです。近場でもありますし、ここも一つ候補地に入れたらどうでしょうか。町の規模としても、うちより小さいですけども、先ほど池田委員が言われたみたいな、条件的にもそんなに離れていないのかなあという気はします。

○鷹野委員長 ほかに。中野委員どうですか。

中野委員。

○中野委員 片手間に、例えば学校教育課から移したとしても、片手間でやったのではとてもこれ無理と思うんですよね。だからそういう意味で言うと、金繁委員、そして池田委員言われたように、そういうところ、合致する、もちろん石川委員の意見もそうですけど、全部全てを合致するような視察先があるかというところ、あれやけど、そこら辺りどれか一つでも二つでも。

今、プロセスの分に関しては、四万十町あれっていうけど、そういう物件を構えているのか、持っているのか、そんなのを問い合わせてもらって、そこら辺りでそれで何か、そういう部分も持ったりそういう問題を抱えていたりするのであれば、問合せをして、近いところではありますしそこら辺りでいいんじゃないかと思います。

もちろん規模が違ってね、空港に近いとか何とかいうたらもう全然状況が違ってきますので、そこら辺りになると愛南町、やっぱり似たような地理的条件なり規模なりみたいなところは、合致するようなところで、やっぱり視察に行くのが妥当なのかなと思います。

○鷹野委員長 副委員長は。

○田中副委員長 そうですね、もう今、出された意見、まずですね、プロセス大事だと僕も思います。アウトプットで何に使われていてどこって言うよりも、行政でどういうふうこれを処分していったりとか、どういうふうな契約をしているとか、そういうところのほうがちよっと知りたいというか、そこができないと実際に運用していくときに、むしろ愛南町のほうが負担してしまうっていう、余分に負担、前よりも負荷がかかってしまうっていうことにならないためにも、どういう手続でどういう人たちにどういうふうに使ってもらっているかみたいなところは大切なかなと思います。

○鷹野委員長 ありがとうございます。

吉田委員。

○吉田委員 この前もちよっと言わせていただいたんですが、お金、経費かけずに、例の西海中学

校については、ボランティアになりますけども議会が中心となって、それを総務のほうで提案していただいて、住民とそれから議会とそれから町職員等含めて、そこでもう本当に一回整理をしていただいて、避難所として本当適正に使えるだけは、お金をかけずに、ぜひそれはやりたいなというふうに個人的に私思っていますので、そこは何とか、視察とかそういうのじゃなくしてお金をかけずに、ぜひそこはやっていただきたいというふうに考えています。

で、道路が基本的にきちっとできていますので、まだ開通式がまだ、何かまだ正式にはきちっとまだ使えるような状況ではないみたいなので、それも併せて、ぜひともそこは一回やってみて、それでできるようだったら上げていけばいいし、これは無理だなと思ったらいろいろとまたね、業者をアウトソーシングしてやるのか、いろいろ決めていきたい一つの事例、案件にはなると思っていますので、ぜひ総務のほうでやっていきたいなと。もう任意参加ですけどね、やっていきたいなというふうに思います。

以上です。

○鷹野委員長 今、吉田委員から、西海中学校ですね、あそこはトライアスロンの倉庫みたいになっていて、中もう結構ぐちゃぐちゃでした。それで、避難所の施設ということで、あそこの整理を委員自らやったらどうかという意見が出ました。

これについては皆さんどうですかね、一回、あの……

(発言する者あり)

○鷹野委員長 ボランティア募ってやるとか、まあ……

(発言する者あり)

○鷹野委員長 中野委員。

○中野委員 委員でやるとか何とかプレッシャーかけてください。もうそういうものはもう、ボランティアいうのはもう自分の意思でやるもので、プレッシャーをかけてボランティアやってくださいというものではないので、やっぱりそういう部分は、呼びかける場合にも地域やら何やらにあんまりプレッシャーならんような形でやっていただきたいと思います。もう僕は地元で聞いていると、ですけど、隣が行ったか、忙しいけど行かざるを得んのかないうそういうプレッシャーあるんですよ。防災の避難訓練も。そういうのをあれすると、やっぱりそれもパワハラのようなあれも出てきて、ボランティアや言いながら、本当は行きたくないのみたいのもあるから、そういう募集するときに、議長本人はもうそういう気持ちが強い人だからあれやけど、そういう気持ちのない人がみんなこう引っ張られて地域があれみたいになってしまっても本末転倒で、ボランティアの意味が違ってくるような気がするので、そこら辺りはぜひ配慮してやっていただきたいなと思います、僕個人的には。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 ボランティアでその精神なんですけど、自由なんですけど、でもあの現状を見てね、お金をかけてそれは簡単にできますけども、できることを議会とか我々するのも一つの方法ですし、参加する参加しないは決して強制ではなくて、例えば私一人でも、それはもうやってもいいかなというぐらいの気持ちでね、そこをやっていくし、同志の方たくさんいるし、その辺は何らかの運用をね、ちょっと考えていただいて、最終的にもう無理だったら無理でそれはしなくていいので、ただ働きかけは何がしかお金をかけずに、経費削減ということですからそれもやるべきだと思うし、この議論上だけでね、あれをじゃあどうするのっていう話でよりも、まず実践してみて、これは無理だなと思えばアウトソーシングして業者を入れるということも可能ですからね。議論だけではなくてそういうのも必要じゃないかなというふうに私は個人的に思うだけです。これを取り上げる、取り上げないは委員会で決めてください。

以上です。

○鷹野委員長 田中副委員長。

○田中委員 僕も全然ボランティアでやりたいんですけど、まずは、ボランティアでやるっていう

かその施設を見に来てもらうきっかけになるじゃないですか。普通は入れないので、片づけたりとかっていうのもあるし、それをどういうふうにやるかっていうところで、人に、ここ避難所なんですよ、こндаけ荷物あるんですよ、じゃあそれって何とかしないと駄目ですよ。みんなの税金でどっかの業者に頼んでやるんですか、いやここぐらいだったらみんなで片づけたらもしかしたらできるかもしれないっていうふうに思ってもらふことのほうが大切かなと思っています。

なので、議長言われたみたいな感じで、僕も、全然、議長と2人だけでも全然やるので。それで賛同してくれる方、要はここを片づけたらいいということに呼びかけて、片づけてもいいよとかって。なんだったら中見たいでもいいと思うんです。中見てもらって、ここ避難所なんだけどこんななっているよ、こндаけ生涯学習課の本がいっぱいあるんですよ西海中学校とか、だったら避難所、もし避難してきたときに困りますよねっていう話になるので、そこをじゃあみんなで何とかしましょうっていうきっかけにもなると思います。

○鷹野委員長 金繁委員。

○金繁委員 今、各論の話にいきなり入ってしまっていると思うんですよ。ずっと総論の話をしていて、私たちたくさん校舎、校舎だけじゃなくて教職員住宅もいっぱいありましたよね、すぐに住めるような。それらについて議会、委員会として、どうするのがよいか町に提言することがこの委員会の目的ですよ。

それができた後に、いろいろ仕分けをしてもらってね、行政のほうでチームを立ち上げるなり、手続をしっかりとした上で、仕分けをして、例えば西海中学校だったらこういうふうに使いますとか、東海小学校だったらこういうふうに使えらるっていうところの使い方を決めた後に、じゃあボランティアであそこはね、地域の人たちと一緒に今、田中委員や議長が言われたみたいに片づけることになって、活用することになったからみんなで片づけに行きましょう、ボランティアに行きましょうという話になるんだと思います。

です、今、各論の話じゃなくて、総論の話に戻して、手続とか体制をどうするか。活用方法も、まあ視察したらいいと思うんですけど、その仕分けができるようにするまでをまず決めないといけないと思うんですね。そこの話に戻していただけたらありがたいです。

○鷹野委員長 まあ今、仕分けということもあつたんだけど、恐らく教育委員会が我々視察した学校に残った机・椅子、あとまだ使えるような備品ですね、あれは今後そのまんまの放置だと思ふんですよ。その辺を行政として、担当課としてどういうふうに持っていくのか。もちろん後の活用っていうのもあるんだけど、取りあえず備品はそのまんまで、それこそ壊すときに全部一緒に処分するっていうような、安易な考え方にあるんやなかろうかっていうふうな感じなんですけど、ですから、ですから……

○中野委員 委員長、それ委員長がちょっと各論のほうになってしまって、それはもう大体、町のほうに所管事務調査の報告で出す方向になつてくるわけですから、それはもう町がどうするか、こうすべきじゃないですかいう方向はもう決まつてると思ふんですよ。競売するなり、処分するなり、もらってもらふなりみたいなのは決まつてるので、そこら辺りは……

○鷹野委員長 だから今、金繁委員の言われたことに対して、そういうふうにやらないと、それも全然前に進んでいかないということで、私申し上げたんですよ。

○金繁委員 はい、委員長ありがとうございます。

実は、学校教育課のほうそれ一応、細々とは進めてくれているんですよ。私1年以上前に、議会本会議で備品をそのままでもったいないので、オークションにかけるなり売却をしたほうがいいんじゃないですかと。その前提として、どの学校に何が幾つあるのかというリストを作っていますかっていったら作っていないということだったんですよ。それで、それを作りますと約束をしてくれて、できたのが今回、委員会に出してくれている資料なんです。

なので、これぼつぼつですけど今、学校教育課のほう進めているんですね。なので、それは

いずれはやってくれることです。で、そうなんですよ、なので今ちょっと総論に戻してほしいんですよ。

備品をどう活用するかっていうのも、もちろんね、ほかのどこ視察行ってもっといい案があるかもしれないので、オークション以外にも。それも込みで視察してきたらいいと思います。なので、今ほとんどの利用・活用の仕分けをできる組織になるにはどうしたらいいのか、手続きができるようになるにはどのような手続きがいいのかっていうところをまず学ばないと全く前に進まないで、そこを視察、最適なところに視察に行きたいと私は思います。

○鷹野委員長 はい、分かりました。

そしたら、そういうことを含めちょっと視察先を、こういう分やったらこういうところがあるよとか、その辺を各自、調査研究するなり、また学校教育課、生涯学習課に一応打診しますので、今度の委員会ですらどこに行くかということを確認したいというふうに思うんですが、その方向でよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○鷹野委員長 そしたらあともう一つ、今度の議会でこの所管事務調査、継続審査するのかどうかということなんです、継続審査ということよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○鷹野委員長 そしたら、継続審査をするという方向にいたします。

そしたら、視察はなるべく近いほうがいいんですかね。まあ1泊ぐらいでも構わんですか。いいですか。

(「はい」と言う者あり)

○鷹野委員長 そしたら、その辺をお互いちょっと調査・研究するなり、しておいてください。

そしたら、また次回、次回、委員会をどうするか。

事務局長。

○土居事務局長 直近の皆様の御予定を申し上げます。

まず、12月定例会初日が12月3日、水曜日から、12月12日、金曜日まで開会されます。それから以降は、15日、月曜日、16日、火曜日が例月出納検査になっています。池田委員がなっています。それ以外は特にないですけど、17、そうか。

(発言する者あり)

○鷹野委員長 1月でいいんですかね。

(発言する者あり)

○鷹野委員長 12月、今月中。無理でしょ。

(発言する者あり)

○鷹野委員長 暫時休憩します。

(休憩)

○鷹野委員長 休憩前に続き会議を開きます。

そしたら、研修の日程ですが、1月末から2月の初旬辺りでいくという計画でよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○鷹野委員長 そしたら、それに合わせて、次回の委員会はもう委員長に任せていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○鷹野委員長 そしたらそのようにさせていただきます。

そしたら、ほかにその他ありますか。

(発言する者あり)

○鷹野委員長 それ、ほんで次回の。次回、委員会を開く日程を決まり次第、それまでに、うん、

あの……

(発言する者あり)

- 鷹野委員長 はい、そのようにさせていただきます。
そしたら閉会します。
- 田中副委員長 以上で総務文教常任委員会を終わります。

委員長